

3 設 計

Q-27 天井がない状態でフラットデッキを使う場合、意匠上どのような点に注意したらよいか？

A

フラットデッキは、直天井によるフラットデッキあらわしで使用することを前提として開発されていません。

意匠上の問題で、天井を設置しない場合には下記の注意事項を守って施工して下さい。

- 1) フラットデッキを採用する際（設計時が望ましい）あらかじめ天井を設置しない範囲および意匠上特に配慮する事項を確認し、明確にしてください。
- 2) フラットデッキの割付け図面作成前に、図面作成者との様な割付にするか良く打ち合わせを行って下さい。
- 3) フラットデッキメーカーによっては、フラットデッキ下面に各種の指示マークが入っています。

削除したい場合にはフラットデッキメーカーと相談して下さい。

- 4) フラットデッキには、もともと許容たわみ量が想定されており、ある程度のたわみが発生することは止むを得ないことです。しかし、どうしても意匠上施工時のフラットデッキのたわみが気になる場合には、板厚の厚いフラットデッキを使用するか、または支保工を追加して施工後のたわみを小さくして下さい。
- 5) フラットデッキの敷込み前に、フラットデッキに付着したごみなどを拭き取り清掃をして下さい。
- 6) フラットデッキには施工時の水を抜くために水抜き穴がありますので、コンクリート打設後漏れたモルタル等のノロを拭き取るなどの検討も必要です。

フラットデッキ差し込み部およびエンドクローズと鉄骨梁もしくは梁型枠の継ぎ手部よりモルタル等のノロが漏れる恐れがありますので布テープなどで塞いで下さい。

また、フラットデッキと調整板との取合部もモルタル等のノロが漏れやすい箇所ですので、調整板の重ね代を多くするなどの対策も有効です。

- 7) 見えがかり部分のフラットデッキに溶接で金物などを取り付けしないで下さい。溶接部に溶接跡が残り見栄えが悪くなると同時に錆の原因にもなります。
- 8) 現場での切断面の処理は、塗装などの処置をして下さい。
- 9) 梁型枠脱型時にフラットデッキを梁型枠に固定した釘が残りますので取り除いて下さい。
- 10) ノロ漏れ確認作業の一例としては、フラットデッキを下部より見上げ、ジョイント部分等隙間から漏れる光の有無をチェックする方法があります。